

まちづくりカフェとあさ第2回開催結果

■開催概要

* 目的～このワークショップは、地域住民を主人公とした持続可能な地域づくりの将来目標を描く地区別計画（協働実行プラン）の策定やそのプランの運営を行う地域運営組織の設立に向けた取り組みの一つに位置付けられています。そこで今後のプラン作りに反映してくださいに、少子高齢化や遠浅小学校閉校に伴うコミュニティ機能の低下などの課題について、地域住民同士が率直な意見交換をし、共有する。

* 参加状況

日付	時間	場所	来場者	ワークショップ参加者
R6.9.19(木)	18:30～20:30	遠浅公民館	大人 12 名、 子ども 6 名	大人 12 名、 小学生 4 名

■次第〔ワークショップはワールドカフェ方式で実施〕

- ・ チェックイン 「自己紹介、いまの体調、お祭りの思い出」
- ・ ワークショップ1 「交流できる機会や場は必要ですか？不必要ですが？その理由は？」
- ・ ワークショップ2 「交流できる機会や場をつくるために何ができるですか？何をしたいですか？」、「交流できる機会や場があると、どんな暮らしになると思いますか？」
- ・ チェックアウト 「今日印象に残ったこと」→1人1枚(A4サイズ)に書いて提出していただく

■各世代の代表者のコメント

子育て世代 Aさん

- ・子ども会や青年部などで活動している
- ・できる範囲での交流は必要だと思う。
- ・役員のお母さんたちが少なくて、ラジオ体操の実施自体が難しい

子ども代表 Bくん

- ・交流は必要だと思う。
- ・コロナや地震を経験して遠浅でも知らない人がいっぱいいる、

シニア世代 Cさん

- ・民生委員や福祉部をしている。高齢者を訪問すると外に出たい意欲のある方と、私はもういいという方がいる。そういう方をどうお誘いしたらよいか。
- ・先日、雑巾集めを依頼したときに若い人が来てくれてとてもうれしかった。
- ・ぜひ一人でも多くの若い人に参加してほしい。

■チェックアウト時の記入用紙から（抜粋）

- ・皆様が交流を持ちたがっていることが改めてわかった。（シニア世代）
- ・遠浅のコミュニティづくり「とあサークル」（子育て世代）
- ・歳をとってもあそこへ行けば楽しい。悩みを気軽に話せるような場があつたらいい（子育て世代）
- ・交流の場へ積極的に参加していかないと地域に取り残されてしまう。（シニア世代）
- ・子供産む前は地域のつながりは不要と思っていた。しかし、産んでから必要だと思った。（ミドル）
- ・交流＝楽しい場所づくり、人とのつながりが大切だと思いました。（子育て世代）
- ・秘密基地が欲しい→旧保育所で昔はお泊り防災キャンプ、菓子作りなど大人も子供も一緒に楽しめて楽しかった。（子ども世代）
- ・公民館をもっと有効に利用できる環境に！（子育て世代）
- ・子供たちに会ったら「こんにちは」、「おかえり」など挨拶、声かけを心掛けよう（シニア世代）
- ・公式ラインでもっと周知しよう（子育て世代）

■今後の流れ

- ・10月5日 第2回ワークショップ開催
- ・11月5日 全体報告会、プラン案の作成
- ・1月未定 地域運営組織体制について
- ・2月未定 地域運営組織体制について、今後のスケジュールについて
- ・2月未定 集落支援員の募集
- ・4月未定 地域運営組織の立ち上げ





